



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

新型インフルエンザ

市内に新型インフルエンザ患者の発生をみたことにより、市対策本部では、予防と冷静な対応を周知するチラシの新聞折り込みをおこないました。

最初の患者が中学生であったことから、学校と保健所、教育委員会などで対応していましたが、新型インフル

と確認された時点で今回の市民への周知となり

ました。この春に発生したときの当初の対応と違い、季節性インフルとに準ずる

市立病院を
訪ねて懇談
党市議団

市民の声も伝え、 診療の状況を聞く

日本共産党市議団は、市立総合病院を訪ねて、最近

対応となっています。しかし、集団感染が懸念される学校、事業所などにおいては、それぞれに外出自粛などの保健所の指導を受けています。

の診療状況等について聞ききました。同市議団は「これまで市立病院の循環器内科にかかっていたが、他の市内の診療所を紹介され、今はそちらで診てほしいと言われた」「かかりつけの先生が辞めてしまつて、今後

も同病院で診てもらえるか心配だ」といった市民の率直な声も紹介しながら、診療体制の現状をうかがいました。

病院の事務部局では「循環器内科は、市内のある診療所が一時的に休診し、その患者も受け入れて、たいへん忙しくなっている。また、カテーテルによる診断や治療も以前に比べて急増し、7月だけで50件を超えた。今後は地域内の病院などとの連携を強めて、慢性で比較的軽微な方は他の病院を紹介している」と述べています。

もつながらる。患者には一層ていねいな説明を」と要請しました。

病院側では「他の病院へ紹介するさいには十分な説明をするように文書や会議でも徹底しているところですが」と答えました。



北茨城・九条の会が主催する「平和展」が始まりました。中郷会場を皮切りに、磯原駅「りぷる」、旧磯原の防災センター、大津港「ようそろー」と8月30日までつづきます。茨城新聞や読売新聞で紹介され、多数の参観者が訪れています。

史上最多の雨量を観測



増水した関山川 (大津北町)

○ 土木関連

床下浸水 5棟、道路法面の崩落 20ヶ所、河川護岸崩落 4ヶ所 など被害額 825万円

○ 農林関連

水田・ため池の法面崩落 14ヶ所、農道陥没崩落・用水堰崩落 3ヶ所 など被害額 2040万円

西日本や東海地方で大きな被害をもたらした集中豪雨は、北茨城市内でも8月9日17時から24時間総雨量が250ミリに達し、観測史上最多を記録しました。豪雨が大津町周辺にかたよっていたことも特徴です。市役所がまとめた主な被害状況は次のとおりです。

大型開発やめ福祉に

茨城知事選 間宮候補が第一声

茨城県知事選が13日告示(30日投票)され、県内の労組・民主団体でつくる「明るいまちづくり会」(明)の宮崎たか子氏(57)が、新、日本共産党推薦の、5選を狙う橋本昌氏(63)と現職、小幡政人氏(64)と新、自民党推薦の6人が立候補しました。



安心と希望の茨城をと訴える
間宮知事候補=13日、水戸市

込みのない港湾や茨城基地の軍民「共用」化などの浪費型公共事業

に巨額の血税を投入してきた橋本氏、これまで県政を推し進めてきた自民党推薦の小幡氏の両候補と、県民本位の県政への転換を掲げる間宮候補との対決です。

間宮候補は水戸市のJR水戸駅南口で、日本共産党の塩川つや

前衆議院議員の応援を受け、第一声をあげました。「前日まで自民党の推薦を受けてきた現職、自民党推薦の新人の両候補では県政の流れを変えることはできない」と述べ、福祉、医療、教育優先の県政への転換を訴えました。

また収支状況については、今年度の4月度は医師の入れ替えの影響などもあり医療収益が1億5800万円(前年比マイナス6900万円)に落ち込んだが、6月度は2億3200万円に回復し、そのうちで循環器内科の収益は約5800万円になるとの説明でした。市民からの苦情では「小児科の救急が日製病院に集約されたの

で大変。夜や休日に診てもらえない」などが寄せられているとのこと。

なお、新病院建設について同対策課では「新病院建設検討委員会はこれまで3回開かれ、10月頃までには建設場所や病院規模などを市長に答申できると」と述べています。